

第7回 福岡ライフセービング選手権大会

福岡大会
2025

1次要項

2025年4月2日

特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会の事業に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、以下のとおり「第7回福岡ライフセービング選手権大会」を開催いたします。本大会はJLAのB認定大会として開催できるよう調整中です。

県内外のライフセーバー交流のため、お気軽に皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

- 名称 第7回 福岡ライフセービング選手権大会
- 日程 2025年5月11日(日)
- 会場 シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区(福岡県福岡市早良区)
- 主催 特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会
- 後援 調整中
- 協力(予定) (公財)日本ライフセービング協会、九州産業大学ライフセービングクラブ、(特非)新宮ライフセービングクラブ、福岡ライフセービングクラブ、福岡大学ライフセービングクラブ、福間サンセットショアライフセービングクラブ、博多サーフライフセービングクラブ、宗像ライフセービングクラブ
- 競技種目 [個人種目]
- 01 サーフレース(女子)【男女混合スタート】
 - 02 サーフレース(男子)【男女混合スタート】
 - 03 ボードレース(女子)【男女混合スタート】
 - 04 ボードレース(男子)【男女混合スタート】
 - 05 ビーチフラッグス(女子)
 - 06 ビーチフラッグス(男子)
 - 07 ビーチスプリント(女子)【男女混合スタート】
 - 08 ビーチスプリント(男子)【男女混合スタート】
- [チーム種目]
- 09 レスキュー・チューブ・レスキュー(男女混合4名1チーム)
 - 10 ボードリレー(男女混合3名1チーム)
 - 11 ビーチリレー(男女混合4名1チーム)
 - 12 ボードレスキュー(男女混合2名1チーム)
 - ・チーム種目のみに出場する競技者も選手リストに必ずエントリー(参加費が必要)してください。
 - ・チーム種目は各団体/クラブから2チームまでのエントリーとします。

・競技者と、テクニカルオフィシャルまたは安全オフィシャルを兼ねることができます
が、テクニカルオフィシャル・安全オフィシャルの人員配置の都合により、エントリー後に各チームへ出場種目の調整をご相談させていただく場合があります。

■競技規則

日本ライフセービング協会発行「JLA コンペティション・ルールブック JLA 競技規則 2024 年版(2024.08.01 版)」及び大会参加規程に則り実施します。但し、一部のルールやコースを変更します。変更されたルールやコースは、2 次要項・代表者会議・各種目招集時にお伝えします。

■得点と表彰

決勝の結果に対して各種目の上位 1~8 位を入賞とし、得点が加算されます。配点は以下の通りです。

1 位-8 点、2 位-7 点、3 位-6 点、4 位-5 点、5 位-4 点、6 位-3 点、7 位-2 点、8 位-1 点

- ・[個人種目]、[チーム種目]ともに同じ得点とします。
- ・ブロックシステムを採用します(上位 8 位以内に同一クラブの競技者が複数名・複数チーム入賞していた場合は、最も上位の順位のみが総合得点に反映されます)。また、ブロックシステムによる得点の繰り上りはありません。
- ・団体／クラブの獲得点が同点の場合、1 位の種目が多い団体／クラブを上位に、1 位の種目が同数の場合は 2 位の種目が多い団体／クラブを上位に・・・、として団体総合順位を決定します。
- ・決勝で失格の場合は「0 点」とします。
- ・団体総合順位は、大会で実施する 12 種目中 8 種目(全体種目の 70%) 以上の最終競技結果をもって、成立するものとします。
- ・前回まで実施していたレスキューボードでの出場による加算はありません。
- ・団体／クラブ総合得点を集計し、上位 1~3 位の団体／クラブに表彰状を授与します。また、その上位 1 位(総合優勝)には、福岡県ライフセービング協会理事長賞が贈られます。

例・1 位と 2 位、6 位が同じチームだった場合

1 位-8 点、2 位-0 点、3 位-6 点、4 位-5 点、5 位-4 点、6 位-0 点、7 位-2 点、8 位-1 点

○オープン参加による得点へ影響について

個人種目で競技者数が少ない場合やチーム種目で人数が不足する場合などにより、チーフレフリーまたは主催団体が出場を認めた場合は、オープン参加や他チームの競技者の出場を認めますが、オープン参加個人種目やそのチーム種目の得点は 0 点とします。また、決勝進出人数が限られている種目に、オープン参加することで 8 位までの順位が決められない場合、その順位と得点はつかなかったものとします。

■タイムテーブル

詳細は、申込締切・集計後の 2 次要項と共に公表します。

■参加費

選手 1 名につき 5,000 円。但し下記のいずれかの参加費割引を適用します。

学生割：大学院生、大学生、専門学生、高校生は競技者 1 名につき 3,000 円(2,000 円割引)。

兼務割：テクニカルオフィシャル又は安全オフィシャルを兼務の競技者 1 名につき

3,000円（2,000円割引）。

※振込締切：2025年4月25日（金）入金分まで

振込先：西日本シティ銀行 須恵支店 普通 3083321 特定非営利活動法人福岡県
ライフセービング協会

※[チーム種目]のみに出場する競技者も、エントリーフォーム「様式B」に競技者情報を
入力し、参加費を支払う必要があります。

※参加費は参加費割引の有無を問わず、保険費を含んでいます。

以下のような状況であっても、参加費は返還されません。

- ・参加競技者が欠場あるいは失格となった場合。
- ・申込締切後に出場登録が取り消された場合。
- ・エントリーミスによる競技会出場不可の場合。
- ・天候その他の理由により、やむを得ず開催中止となった場合。

■申込方法

「参加募集1次要項」「大会参加規程」を熟読し、チーム単位でお申し込みください。

提出物は事前のデータファイル送信と、大会当日の書類（同意書）提出があります。記入漏れ・記入ミスがないように充分ご注意ください。

※申込締切：2025年4月25日（金）

①データ提出：2025年4月25日（金）23:59受信分まで

送信先：info@lifesaving.fukuoka.jp 福岡県ライフセービング協会宛

②当日書類（同意書）提出：2025年5月11日（日）8:50提出分まで

提出先：会場内 本部テント受付（提出されていないチームは出場できません）

提出：競技者は各チーム単位で提出をお願いします。

※競技者エントリーがないチームから、テクニカルオフィシャル、安全オフィシャル、
運営スタッフ等でご協力いただけるチーム・個人についても、できる限りチーム単位
(個人単位でも可)で、2025年4月25日（金）23:59までに上記データ提出送信先
へデータファイルにてお申込みをお願いします。

■イベントタイムテーブル【予定】 ※詳細は2次要項でご案内いたします。

●5/10（土）

時間調整中 C級審判員養成講習会（調整中）

時間調整中 サーフクリニック（調整中）

時間調整中 会場設営（調整中）

●5/11（日）

時間調整中 出場確認（調整中）

時間調整中 代表者会議（調整中）

9:00(予定) 開会式・競技開始

15:00(予定) 閉会式

15:30(予定) 大会終了・後片付け

- 宿泊 各チーム・個人でご用意ください。
- 食事 各チーム・個人でご用意ください。(付近に飲食店多数)
- 2次要項 2次要項は、4月末頃にエントリー担当者へメールで送信するとともに、県協会WEBサイトへ公開する予定です。
- 代表者会議 競技進行や競技実施における注意事項等について説明する代表者会議を、競技会の前に開催します。団体／クラブ代表者(やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者)は必ずご出席ください。詳細は2次要項にて、エントリー担当者宛にメールで配信します。
- ラッシュベスト オーシャン競技サーフ種目に出場する競技者は、日本ライフセービング協会で指定されたラッシュベストの着用を推奨しています。可能な限りの着用をお願いします。
- 器材 昨年まで主催者により貸出していたレスキューボードの貸出は、本大会では行いません。必要なクラフトは各チームで準備し、もし貸し借りが必要な場合はチーム間で事前にご調整ください。
- サーフクリニック ユース時代はJLAハイパフォーマンスチーム(日本代表強化指定選手)で活躍し、現在は湯河原LSCやCRESTで活躍している新宮LSC石田周也選手から、福岡でサーフスイム・パドルボードなどサーフ種目を中心に最新の知識・技術を学ぶことができるサーフクリニックです。別途申し込みが必要です。2次要項時に参加募集要項をご案内予定です。

(次ページ、「大会参加規程」に続く)

第7回福岡ライフセービング選手権大会

大会参加規程

1. 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会当日満15歳以上でなければならない（但し、中学生を除く）。
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事した者でなければならない。
- 1-3 競技者は、日本ライフセービング協会が認定するアカデミー資格の取得を推奨する。年齢区分別に対象資格は以下の通りとします。
一般 : 認定ライフセーバー資格※
高校生 : BLS 資格及びウォーターセーフティ資格
※認定ライフセーバー資格は、JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」を参照すること。
- 1-4 競技者は、日本ライフセービング協会オンライン管理登録システム「LIFESAVERS」にて2025年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなくても良い。
- 1-5 競技者は、1つの団体／クラブから出場しなければならない。

2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて日本ライフセービング協会への2025年度加盟登録が完了していなければならない。
- 2-2 1団体／クラブからの出場は2つまでとする。
- 2-3 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成されていなければならない（競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること）。
- 2-4 参加団体／クラブ名称は、日本ライフセービング協会に登録されている団体／クラブ名称とする。

3. 出場登録

- 3-1 参加競技者は、個人種目・チーム種目に関わらず、予め所定の用紙（電子データファイル）を用いて出場種目の登録をしなければならない（エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする）。
- 3-2 競技者個人の技術や体力などを十分に考慮し、出場登録を行うこと。
- 3-2 チーフレフリーまたは主催団体は、個人種目で競技者数が少ない場合やチーム種目で人数が不足する場合などの理由により、大会当日にオープン参加や他チームからの競技者出場を認めることができる。

4.団体／クラブ代表者

各参加団体／クラブは、団体／クラブを代表するものとして代表者を1名置かなければならない。なお、団体／クラブ代表者と競技者はこれを兼任することができる。また、団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず代表者会議に出席しなければならない。

5.ユニフォーム及び競技中の衣類

- 5-1 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 5-2 キャップは、日本ライフセービング協会に登録が完了している団体／クラブは、着用しなければならない。なお、未登録のチームは主催団体がキャップを貸し出すことがある。
- 5-3 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。
- 5-4 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

6.競技規則

本大会は、日本ライフセービング協会発行「JLA コンペティション・ルールブック JLA 競技規則 2024年版(2024.08.01版)」及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則よりも優先される。

- 6-1 大会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで大会は継続する。
- 6-2 大会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 6-3 本大会は、一部のライフセービング競技規則を変更することがある。その際、チーフレフリーは各スタート前に競技者へ変更箇所を周知しなければならない。
- 6-4 本大会は会場の都合により、オーシャン競技のコースを一部変則的に設定する。変更内容は、代表者会議または各スタート前に通知する。
- 6-5 ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー（本大会に競技者として出場登録している者）とする。やむを得ずチームメンバー以外からハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本大会に競技者として出場登録している者に限る。

7.競技器材

- 7-1 競技で使用する器材は、日本ライフセービング協会発行ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 7-2 オーシャン競技で使用するバトン、ブイ及びレスキューチューブは、主催団体が用意する。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。

8.テクニカルオフィシャル

- 8-1 本大会におけるテクニカルオフィシャルは、日本ライフセービング協会が認定する認定審判員資格を取得していなければならない。
※大会前日に開催予定である C 級認定審判員養成講習会の受講者も本大会テクニカルオフィシャルとして選出可能。
- 8-2 テクニカルオフィシャルは、競技者を兼ねることができる。
- 8-3 競技者兼テクニカルオフィシャルもテクニカルオフィシャル参加履歴として加算されるが、大会当日までにオンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2025 年度の資格登録費の支払いを完了していなければ、参加履歴として加算されない。

9.その他

- 9-1 大会中に主催団体及び主催団体が認めた者が撮影した、競技者やチーム関係者の写真、映像及び録音した音声を、ライフセービングの広報の目的で使用したり、第三者に対して使用を承諾することがある。
- 9-2 大会への出場登録時に提出したエントリー情報は、主催団体もしくは主催団体の許可する者がアナウンスをしたり、掲示、公開する場合がある。
- 9-3 大会中に主催団体が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 9-4 主催団体への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

以 上